

続々増える万博パビリオン工事未払い ～命を蔑ろにし、誠実な労働を踏みにじる現実～

万博工事未払い問題 発生パビリオン(7/11 現在)



・大手ゼネコンの代表が間に合わないと明言し、多くの業者が手を引く中、吉村知事は「絶対間に合わせる。地元の業者に協力をおねがいする」と発言。それに応えた多くの中小事業者が、昼夜を問わず過労死レベルの工事をして完成にこぎつけました。

・ところが、7月11日現在8つの海外パビリオンで、元受け企業や上位の下請け企業が建設代金を支払わず、下位の下請け企業に対する多額の未払いが発生し、さらに下位の孫請け、ひ孫請け業者が連鎖倒産する恐れが生じています。500人以上の被害者とその家族1000人以上が生活基盤を失い路頭に迷う恐れが生じています。

・そこで、被害者の方々は、「万博工事未払い問題被害者の会」を立ち上げ、6月23日、大阪府に以下のような内容の要望書を提出しました。

万博パビリオン工事未払い問題における早急な救済措置を求める要望書(抜粋)

1. 早急に実態調査を実施するとともに、倒産の危機にある被害を受けた中小事業者に対して、令和7年6月30日までに大阪府による緊急立替払いをしてください。
2. 建設業許可のないままパビリオン建設工事に携わった事業者の名前を公表し、行政処分を行ってください。
3. 超過勤務分の賃金や資材立替払い分の延滞金など、必要な弁済を行うよう、大阪府から加害企業に働きかけてください。
4. 下請け業者が安全に働ける環境の管理を徹底してください。また、中抜きや持ち逃げなど悪質な業者については大阪府が公表し、処分を行うなど、建設業界のクリーン化を推進してください。
5. 大阪府建設振興課の建設工事相談業務に関して、しっかりと弁護士や司法書士を常駐させた実用的なものにしてください。また指定金融機関と連携し、スムーズな資金調達が可能になるような制度を作ってください。

ところが、万博協会の副会長でもある吉村知事は「未払い被害者に寄り添う」と言いながら『『民民の問題』だから、立て替え払いや緊急融資はできない』と、未払い被害者を見殺しにするような返答をしました。要望書への回答で紹介された窓口で相談をしましたが、部署をたらいまわしにされ、役に立つ支援策は示されませんでした。

私たちは、まれにみる軟弱地盤で水はけが非常に悪い上に、メタンガス爆発の恐れにおびえ、一酸化炭素・硫化水素・アンモニアなどの有毒ガスや PCB・ヒ素・フッ素などの有害物質を含む粉塵にさらされながら、困難な仕事に取り組まれた建設労働者の皆さんの健康被害を懸念し、万博協会などに訴えてきました。この未払い問題は、命に係わる喫緊の問題として、見過ごすわけにはいかないと考えています。

ぜひ、裏面の、「万博工事未払い問題被害者の会」の皆さんの訴えを読んで、支援のカンパと署名にご協力をお願いいたします!!

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103

山川よしやす(事務局長) 電話 090-8536-3170



当会 HP



当会 FB



当会 X



「命輝く未来社会のデザイン」
のテーマのもと、多くの人々が笑顔で来場している陰で、そのパビリオンを懸命に作った労働者の命と尊厳が踏みにじられている・・・